

「交流会について取材して、学校新聞を書こう」

取材した内容を整理して、新聞記事を書くことができる

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、編集する目的や意図を明確にして、取材した内容を整理して記事を書くことについての指導事例を紹介します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

B1 目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉

B1三 正答率 **34.9%** 【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B ウ

授業アイデア例

学習過程

学習活動1 新聞で一番伝えたいことは何かを話し合い、学習課題を設定する

昨年の交流会は、楽しかったな。楽しい交流会の様子を伝えたいな。

今年も大勢の方と交流するそうよ。下級生に紹介したいわ。

みんなの意見をまとめると、今月号の学校新聞で一番伝えたいことは**交流する楽しさ**だね。

学習課題 **交流する楽しさがみんなに伝わる新聞を作ろう**

学習活動2 学習課題に基づき、紙面の割り付けを行うとともに、見出しを決め、記事を書く

トップ記事の見出し：交流で広がる 心の輪

下書きの文章

おじいさん、おばあさんから、遊び方や上手にできるコツを教えてください。そのほかにもお話をした。交流を深めることができた。

詳しく書き加えたい内容がないか、前に取材したことを振り返ろう。

もう一度、参加者にインタビューしたり、疑問に思ったことを図書館で調べたりするなど、再取材してみてもいいな。

トップ記事だから詳しく書く必要があるな。書く分量を増やそう。

書き直した後の文章

おじいさん、おばあさんから、遊び方や上手にできるコツを教えてください。おばあさんは、「**すぐにコツを教**えてくれた。参加した**ついでに話してよかったわ。**」と、**明るい声で話して**いました。来年も来てほしいな。と、にこにこしていました。うまくできて、**ハイタッチする**人もいて、みんな楽しく交流を深めていました。

詳しく書くポイント	①インタビューの話の内容などを見直す	②写真資料等で活動の様子などを確かめる	③参加者の意見や感想を聞く
	インタビューの際、記録したメモを基にして、話し手の言葉や様子を書き加えることで、話し手の気持ちや思いをよりの確に伝えることができます。	活動の様子を書き加えることで、読み手により分かりやすく伝えることができます。	参加者の意見や感想を書き加えると、読み手に説得力をもって伝えることができます。
書く材料	「 すぐにコツをつかんでくれてよかったわ。 」 明るい声で話していた様子が印象的	うまくできて、 ハイタッチしている人がいた。	「おじいちゃんとすぐに仲良くなれて、うれしかったな。 来年も来てほしいな。 」

学習活動3 完成した記事を読み合って、交流する楽しさが伝わるかどうかを相互評価する

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 取材した内容を新聞記事として書く際は、目的や意図に応じ、伝えたい内容を詳しく書いたり、それ以外の内容を簡単に書いたりすることが大切です。読み手に伝えたいことの中心を明確にした上で、自分で調べた内容や、関係者に取材した事柄の中から取捨選択し、伝えたいことが読み手に伝わるように、整理して記事を書く指導が考えられます。